

データ倫理チェックリスト (Ethics and Data Science より)

以下がデータプロジェクトに関わる際のチェックリストです。

- 技術がどのように攻撃されたり乱用されたりするかを検討していますか？
- トレーニングデータがフェアで代表的であること(偏りが無いこと)を検証していますか？
- プロジェクトで用いるデータが偏りを持つ原因となり得る要素について検討・理解をしていますか？
- プロジェクトチームは思想や背景、考え方などの多様性を反映していますか？
- データの利用に際し、どのようなユーザーの同意が必要ですか？
- ユーザーの同意を得るような仕組みを持っていますか？
- ユーザーが何に対して同意するかを明瞭に説明していますか？
- プロジェクトが人々に危害を加える結果となった際の補償制度はありますか？
- ソフトウェアが好ましくない働きをした際にソフトウェアを停止することは可能ですか？
- 異なるユーザー間での公平性について検討をしていますか？
- 異なるユーザー間でのエラーの発生頻度の差について検証をしていますか？
- ソフトウェアが長期的にフェアであり続けるように検証をし、モニタリングを行っていますか？
- ユーザーデータを保護するプランはありますか？

出典

Mike Loukides, Hilary Mason, and DJ Patil (2018) *Ethics and Data Science*, United States of America: O'Reilly Media, Inc. (p.8)

このチェックリストは実際のプロジェクトが倫理的に問題のあるものか否かをチェックするために、可能な限りシンプルに設計されたものです。倫理原則、誓約は実践と直結せず、プロジェクトの各プロセスで逐次確認されることもありません。しかし、チェックリストは様々なプロセスに使用可能なものです。著者らは倫理原則や誓約よりも実践に適したツールとして、チェックリストが相応しいと考えています。チェックリストの各項目は Yes と No の二択で答えられるように作られおり、プロジェクトが倫理的な課題を擁しているか否かが容易に確認出来ます。